

令和3年度ルールメイカー育成プロジェクト実施報告書

学校名	広島県立音戸高等学校
------------	------------

1 取組のねらい

生徒が主体となって身近なルールの見直しに対話的に取り組むことにより、様々な立場の人の意見を聞き、合意形成を得ながら意見をまとめる力を身に付ける。また、学校全体で取り組むことで、地域の期待と信頼に応え、社会に貢献できる生徒の育成につなげる。

2 取組計画・取組内容	3 取組の創意工夫（活動の様子）
--------------------	-------------------------

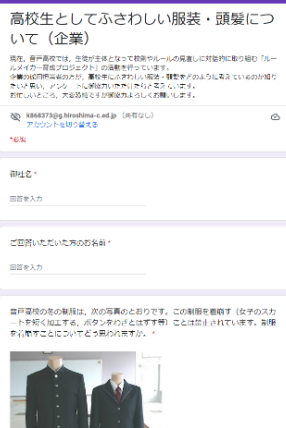
- (1) クラス代表会議・生徒総会（4月）
各クラスから学校に対する意見・要望を集め、生徒会執行部及び生徒指導主事が回答。
- (2) デジタル「目安箱」（6月）
生徒会長の発案により、生徒から学校に対する要望を広く集めるため、Google フォームを活用してデジタル「目安箱」を設置。
- (3) 高校生としてふさわしい服装・頭髪についてのアンケート（9月）
地元企業・保護者・教職員に対して、高校生としてふさわしい服装・頭髪に関するアンケートを、Google フォームを活用して実施。
- (4) 身近なルールについて主体的に考えるシンポジウム（10月）
地元企業・保護者・地域・大学の代表者を招き、意見交流を実施。
- (5) 校長と生徒会執行部の協議（1月）
生徒会執行部と校長が新しい校則の策定に向けて協議し、原案を確定。
- (6) 来年度の校則の試行（3学期）
新しいルールを試行し、問題点がないかを確認。

(1) 高校生としてふさわしい服装・頭髪についてのアンケート


Google フォームを活用して、服装・頭髪に焦点を絞って「高校生としてふさわしい服装・頭髪」についてのアンケートを企業・保護者・教職員に実施した。〔写真1〕

(2) 身近なルールについて主体的に考えるシンポジウム

地元企業・保護者・地域・大学から代表者を招き、特に生徒の関心の高い服装・頭髪に焦点をあてて意見交流を行った。〔写真2〕



〔写真1〕



〔写真2〕

4 成果（生徒や教職員等の変容等）

ルールメイカー育成プロジェクトに係る年間の取組について、1月末に1・2年生を対象にアンケートを実施したところ、全ての生徒が「ルールを守ろうという意識が高まった」と肯定的な評価をした。この取組を通じて、生徒の規範意識を高めることができたのではないかと考える。また、広く学校関係者の意見を取り入れたルールづくりを通じて、特色ある学校づくりを更に推進することができた。

5 課題や気づき（今後に向けて等）

生徒・教職員とも合意形成の難しさを実感することができた。本年度の取組を風化させることなく、対話的な活動を通じて、服装・頭髪以外のルールについても学校関係者の合意形成を得ながら、適宜、必要な見直しを進めていきたい。